

10. 自由意見のまとめ

問36

「市民一人ひとりが個人として尊重され、性別により差別されることなく、自己の能力を発揮できる社会」へ向けて、あなたが日頃感じていることをお聞かせください。

以下は、自由意見欄に記入あった358件の意見について、(1)～(9)の調査項目の区分別に整理した中からそれぞれ数件ずつ抜粋したものである。なお、(10)「複数に渡る意見(1～9の内容と重複するため)」と、(11)「その他(1～9以外の内容につき)」については、ここでの掲載は省略する。

(1) 男女平等意識について

- 色々な取り組みが行われてはいるものの、まだ、男女平等とは言い切れない状況が続いていると思う。(20代女性)
- 現代の若者や子供たちは、性別による差別意識はほとんどないと思います。社会通念がかわること、セクシャル・マイノリティの方たちが生きやすい世の中になることを望みます。(30代女性)
- 性別により差別されているわけではなく、能力により区別されていることに気づくべき。声が大きい、能力がない人間が性差別を言い訳にすることは許されないと感じる。(30代男性)
- 企業や政治など、男性の方が多いポジションを、女性にもどんどん進出させてほしい。男性ばかりの意見があっても偏っていて、豊かさにはつながらない。女性の大切さ、対等さが豊かさへの鍵だと思います。(40代女性)
- 男性であること、女性であることを意識せず、能力で全て判断する社会になるとよい。(40代男性)
- 一人ひとりの能力は違うので、男女まったく一緒にはしなくても良いとは思いますが、能力ある人は認めてもらいたいと思う。(50代女性)
- 男性であること、女性であることを意識せず、能力で全て判断する社会になるとよい。(50代男性)
- だいぶ抵抗無く受け入れられるようになった気がします。でも、もっともっと理解されるようになってほしいです。(60代女性)
- 差別されないための個人の責任と、老若男女の共通認識の変化が求められる時期が来ている。(70代男性)

(2) 家庭・結婚観、地域活動について

- 家事、育児は女性の仕事という意識は廃れるべき。今の世代は、共働きでないと生活や将来に不安がある。特に、育児については、男性がもっと参加してしかるべき。男性の育休取得が当たり前、普通のことになるように、社会、会社の意識改革が必要。(20代女性)

- 外で活躍する事(人)だけでなく、家庭内で子育てや家事をしている事(人)も認めてほしい。仕方なく家庭にいる(仕事をしていない)のではなく、望んでそうしている人もいる。男か女かではなく、個人の価値観で、自分が1番幸せと思える生き方ができる社会になるといい。(30代女性)
- 人それぞれ心も考えも違う。普通ってくりでそこから差別が出てくるんだと思う。みな考え方が違うし、理解してくれる人が身近にいてくれることが大切なのかも。(30代男性)
- 育児、介護は女性がするべきだという考えを改めなければ、男女が平等に自己の能力を發揮できる社会は難しいと思う。(40代女性)
- 男は男だから、女は女だからと固定観念を持たないことが一個人の能力を發揮できるのではないかと思う。(40代男性)
- 私の周りでは、女性が大切にされています。男性の労働時間の見直し等を行い、家庭、社会活動への参加しやすい環境づくりが必要だと思います。(50代男性)
- 健康長寿社会に向けて、現役を離れた(リタイア)後も社会参加を促進して、将来を担う世代への育成に協力をして頂き、様々な、幅広い知識を「福島の宝」として後世に繋いでいただくことを望みます。(60代女性)
- 昔に比べると、女性の積極性は素晴らしいが、さらに地域活動等において指導者として活躍してほしい。(70代以上男性)

(3) 女性活躍の推進について

- 老人のモラルのなさ、年配者は敬われて当然という態度がおかしいと思う。行政も企業も若返りが大切なのでは。(20代女性)
- 少子化と言っているが、産んでも預けられる保育園が少ない。保育園卒園しても小学生を預かってくれる学童も少ない。ようやく働ける頃には、子供の学費など出費が多く、もっと働きたいが、親の介護があり、思うように働けなくなる。男性は、家庭があっても昇進、昇格するが、女性は家庭があると昇進も昇格もなかなかできない。(30代女性)
- 女性が自分の特技を生かし、起業する人がたくさん増えればいいのにと思っています。(40代女性)
- 保育園、幼稚園などに、子育てが終わったベテラン主婦(主夫)などに短い時間でも働けるようにするとか、子供のために力を入れてほしい。(50代女性)
- 女性自らが、女性だからこの程度で良いとハードルを下げてしまい、自ら挑戦する事を望まない。これでは女性の地位は向上しない。
- 環境の充実が図られれば、時間的な余裕があるので、積極的に地域的に女性が参画できるシステムを作って欲しい。それと高齢者の健康な男女をもっと参画しやすい環境を作って欲しい。(70代以上男性)
- 女性の雇用を増やし安定させる。仕事と育児が両立できる仕組みを充実させる。ここらを整えていかないと、女性の社会的活躍が進まないかなと思います。(70代以上男性)

(4) 職業・就労について

- 能力、体格や体力、成長する速度など、人それぞれ個人差があるものがたくさんあります。それを尊重される職場づくりをするべきだと思います。(10代女性)
- 会社によっては、女性が役職に付けないという風習がまだあると思うので、性別を問わずしっかりと能力を評価して決めた方がよいと思う。(20代男性)
- 性別に関係なく、リーダーシップのある人材を管理職にするなどし、スキルアップを図れる環境を整えられるといいと思う。育児や介護をする人たちの負担が少しでもなくせるようにし、社会に貢献できるようになればいいと思う。安心して子育てができるよう、手当での充実に入力されたいのではないかと思います。(30代女性)
- 男女共に、職場や会社において若い人ばかり優遇されるのはおかしい。年齢は関係なく、その人の人格、能力、やる気で評価してほしい。職場の上司によって、サービス残業を認めたり、認めなかったりするの納得がいかない。(40代女性)
- 男女関係なしで一人親は何かと大変です。正規で働けない現状がありますので、福島県(市)で賃金等の見直しや手当等をもう少し考えていただきたいです。他県と比べ、手当が低すぎて生活がしにくいです。(40代男性)
- 職場でも家庭でも、必要とされている実感を味わうことができ、能力が正当に評価される事が働くことへの意欲へつながると感じる。健全な職場が増えていくことを願う。(50代女性)
- 誰もが、働きたいと思える、働きたいときに働ける。そして、企業も個人も豊かになれる。そのような社会になることが望まれます。(50代男性)
- 学力重視ではなく、本人の得意分野を生かして働ける職場があると望ましい。(70代以上女性)

(5) 子どもの教育について

- 家庭の中でつくり上げられる考え方というのは大きいので、現代社会においては小さいうちから男女平等、役割分担が当たり前という環境の中で成長して行ってほしい。家庭だけでなく、社会全体がそのような考え方で子供たちを育てて行ってほしい。(40代女性)
- 仕事が続かない若い方が多いように思います。社会に出るまでの家庭の中でのかかわり合い方、社会で生きていくために大事な事とか、学校だけでなく、家庭の中での親の役割が大切だと感じています。(50代女性)
- 教育だと思う。(家庭や地域社会、学校、社会生活での) (50代男性)
- 子どもの頃からの意識付けなければ大人になってからでは思うように浸透していかないと思う。男女共に、相手を想い、話を聞いて、互いの立場を尊重し合えるようになればと思います。(60代女性)
- 新しいものを追いつけるのを見直し、古きよき時代の心をもっと子供たちに伝えて欲しい。すぐに手に入るのではなくがまんする心、がまんして手に入れた時の喜びを知る事も大事。物にあふれているこの時代の先に見えるのは、崩壊に続く闇だけである。自然も愛せない、守れない人が多すぎる。(70代以上女性)

- 次世代を担う子供への教育が大切。(70代以上男性)

(6) 介護について

- 介護の現場で働きながら、充実した毎日を送ることができるようになりました。女性の多い職場となっています。男性も登用できるような介護の現場になっても良いと考えます。(40代男性)
- 自宅介護は大変。介護度 4、5 の場合、利用料金も高く、回数を減らすか、自分たちですか。利用料金負担を補助すべきだと思います。(60代女性)
- 今後、ますます高齢者が多くなり、私を含め、一人ひとりの老人のケアを大切にして頂きたいと思っています。(70代以上女性)

(7) 人権について

- 性的少数者を理解する人がもっと増えるよう、講座などで機会を設けるべきだと思う。(10代女性)
- カミングアウトしても、何の被害も被らない社会、危害、迫害されない社会がほしい。(20代男性)
- 福島は未だに「女性」ということに不利を感じる人が多い。古い体質をそのままにせず、時代にあった柔軟な考え、取り組み、議論があたり前にできるようになってほしい。50代以上の、特に管理職についている男性の意識が低いと感じます。Wワークで接客業もしているため、企業に属していますが、とにかくモラハラ、セクハラが多いです。(30代女性)
- 職場や組織内でのセクハラ、パワハラ等はなくしていかないとだめだと思います。性的少数者の人は、身近にいないのでよく分からないのですが、そういう人たちがカミングアウトしても、普通に暮らせる社会や職場であって欲しいと思います。(50代女性)
- 女性はモラハラを地域から受けやすいです。意識そのものを変える提案がほしい。(50代女性)
- マスコミの報道などで、セクシュアル・マイノリティなどの抵抗感は軽減されていると思うが、企業内での男女差やパワハラ、セクハラ等表にでないものが多い。実力主義やAI化での仕事に取り組む姿勢や環境が大きく変わって行く中で、「個人を尊重する」人としてのあるべき姿が失われていないか？社会全体で忘れないようにしていけたらと感じる。(50代男性)
- 私の会社にもセクシュアル・マイノリティの方が 4 人入社しました。それぞれが最初は積極的ではありませんでした。次第に慣れてきて明るく快活に元気良く勤めていただき、職場においてもリーダー的な存在で活躍していただきました。受け入れ側が特別な目で見ないで、一人の人間として付き合いしていく事が大事だと思います。(60代男性)

(8) 防災について

- 社会、地域においてもまだまだ女性に対する差別はあると思います。積極的に参加しようと思っても高齢男性からは、生意気とか女のくせにという感じを持たれてしまいます。実際、災害時は

女性の力の大切さを理解していない人が多い。全て、男性目線で決めてしまうことが多いので、なかなか女性が前に出て活躍するのは難しいのが現実です。(60代女性)

(9) 男女共同参画に関する施策について

- 性別による差別などの問題は、どれも差別する側に精神的あるいは経済的な余裕がないことに起因しているように思います。余裕を持って生活を送れるような制度を整えてもらえると良いと思っています。(10代男性)
- 相談したくてもできない人、しようと思ってもやらない人のために、情報や窓口を提供する事は大切ですが、地域ごと、職場ごと、各家庭に立ち入り検査のような形で福島市の方から歩み寄ってもらえると良いと思います。周囲の目や意見を気にして、声を出したくても出せない人もいます。そういった方々のためにも、福島市の方から内側に入って話を聞いてほしいです。(20代女性)
- 市民一人ひとりの意見を尊重し、福島市が政策を行って頂ければと思う。市民の負担が減る政策の情報の発信を、市民が情報共有できるよう行ってほしい。(30代男性)
- 自己の能力を発揮できる場が見つけられない人が多いのではないかと。場作りから始めてほしい。(40代女性)
- 何かのイベント、講座、セミナー等開催の際、あわせて保育・一時預かり等のセッティングサービスがあれば、気軽に参加(女性)できるのではないだろうか。そういった行政サービスをおおいにコマーシャルすることも大切である。しっかり伝わる、しっかり浸透する、しっかり周知するように。(50代女性)
- 一人ひとりの人間が、生きがいを感じながら子育て、仕事、その他の家庭生活や地域での活動に取り組んでいけるような社会が実現できたら良いと思います。子育てには、経済的にはもちろん精神的にも余裕が必要だと思います。子育てする若い人達の気持ちを支え、激励してあげる場所(市内の交通の利便性の高いところに子育てセンター等)の充実を希望します。(60代女性)
- 様々な講習会を町内会ごとに開催していただくことで参加しやすくなると考えますので、ご検討いただければと思います。(60代男性)
- 市民一人ひとりが参加できる学習会や活動できるものを多く作っていただきたいと思います。(70代以上女性)
- 福島市男女共同参画についてのPR事業が少ない。社会全体に賛同を求めるべきである。(70代以上男性)